

宮坂建設工業の 高橋さんが佳作

ら主張
省の
交ち
国私

国土交通省と建設産業

人材確保・育成推進協議

会は、建設業従事者から

のメッセージ「私たちの

主張―未来を創造する建

設業―」の入賞作品を発

表した。道内からは、高

橋健さん(宮坂建設工業)

が佳作に選ばれた。18日

に国交省内で表彰する。

建設産業がもたらす夢

や憧れ、建設業の仕事を選

んだ動機など、建設産業

のイメージアップにつな

がるメッセージを幅広い

世代から募り、優れた作

品を選んで表彰する制度。

今回は、国土交通大臣

賞に中野土建(長野県)

の高橋陽子氏による「建

築バカ」と、早野組(山

梨県)の柿島誠氏による

「誇りを持てる仕事」の

2作品が受賞した。

入賞作品は「建設のし

ごと」ホームページで公

表するほか、将来の建設

産業を担う若者を対象と

した「建設業界ガイドブ

ック」(建設産業人材確保

・育成推進協議会発行)

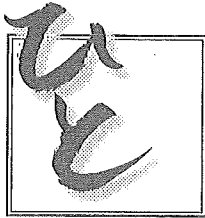
に掲載。建設産業への理

解と関心の向上に役立て

られる。

達成感が建設業の魅力

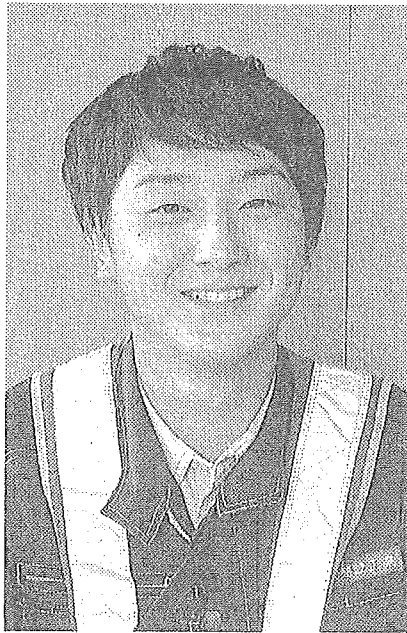
ひと12



国交省らが募集した「私たちの主張」で
佳作に輝いた宮坂建設工業の

たか はし
高 橋

たけし 健 さん



国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が募集した、建設業従事者からのメッセージ「私たちの主張」未来を創造する建設業」で、道内から唯一入選し、佳作に選ばれた。受賞の知らせに「突然でびっくりした」と話す。

就職しようとする若者に建設産業の魅力を紹介するため、幅広い世代からメッセージを集める企画。上司に勧められて応募した。

父、祖父ともに建設業に携わる家庭で、自然と建設業に親しみを持って育った。「工事が完成したときの達成感がやめられない」という2人の言葉を胸に刻み、『達成感』と題して、土木

の道を志そうと思った経験をもとに書き上げた。

幌延町出身の25歳。北海学園大工学部を卒業後、宮坂建設工業(本社・帯広)に入社した。現在は土木部に所属し、帯広広尾自動車道更別村南9線改良現場で、測量や工事写真の撮影、工程管理の調整といった業務を担当。「作業の段取りを常に考えている」という。

「自分の出した丁張りに合わせて図面通りの形が出来上がり、ずっと残るのが土木の仕事の面白さ」と話す。

入選作には、自分が携わって完成した道路を車で走ったときに達成感を味わい、とても感動したことをつづった。

2級土木施工管理技士になるのが今の目標。「1級や技術士など、できるだけ皆さんの資格を取りたい」と意気込む。家庭では7カ月の娘を持つ父親。休日は、家族で買い物をしたり映画を見たりなどして過ごす。

(石)